

(別紙2)【大学院】2024年度第2学期調査対象科目

科目名／主任講師名	コース／カテゴリ ／単位数	メディア	概要
学校臨床心理学特論 (`21) 倉光 修(放送大学特任教授)	人間発達科学／大学院 ／2	TV	今日、学校の中に臨床心理学の知識と技能を持ったカウンセラーがいて、心理的問題に苦しむ子どもたちに対するカウンセリングやプレイセラピー、保護者に対する相談や教職員に対するコンサルテーション、緊急支援や心理教育、関連分野の専門家や地域の人々との連携などに取り組んでいることがよく知られるようになってきた。このような取り組みは、1995年に、文部省(当時)によって公立中学校を中心としてスクールカウンセラーを派遣するようになって以来、飛躍的に発展してきた。本科目では、学校に関わるこうした臨床心理学的支援について幅広く論じる。
生活リスクマネジメント (`17) 主任講師名：奈良 由美子 (放送大学教授)	生活健康科学／大学院 ／2	R	生活の質を高めるうえで生活リスクを理解し低減することは不可欠である。このことは生活者自身はもちろん、地域、企業、行政といったリスク管理主体を含めた社会全体の課題といえる。本科目では、リスクの様相の局面、リスクの認識の局面、そしてリスクへの対処の局面から、生活リスクマネジメントの理論と実践についての講義を行う。
計算論(`16) 主任講師名：隈部 正博 (放送大学教授)	自然環境科学／大学院 ／2	R	最初に、言語、文法とは何かを考える。次に現代言語学の父といわれるチョムスキーの定義した様々な形の文法を学び、それによってどんな言語が生成されるかをみる。次に計算という概念について考える。言語を構成(計算)するための機械であるオートマトンを定義し、様々な種類のオートマトンの形を学ぶ。その後、計算機科学の父といわれるチューリングの定義したチューリング機械を理解し、多くの計算がチューリング機械をつかって表現できることをみる。最後にアルゴリズムとは何かを考える。
eラーニングの理論と実践 (`24) 青木 久美子(放送大学教授) 専門担当講師名：高橋 秀明(放送大学教授)、加藤 浩(放送大学教授)、辻 靖彦(放送大学准教授)、山田 恒夫(放送大学教授)、平岡 斉士(放送大学准教授)	情報学／大学院 ／2	OL	コロナ禍で教育や研修のデジタルトランスフォーメーション(DX)が進み、今後eラーニングやオンライン教育はますます普及していくと考えられる。本科目では、eラーニングやオンライン教育を企画・設計・実施するにあたって重要であると考えられる様々な理論を説明するとともに、必要な技術的基礎知識や具体的実践例を、最新の動向を踏まえながら紹介し、今後のeラーニングやオンライン教育の方向性を展望する。
地球を読み解く(`19) 大森 聡一(放送大学教授)、谷口 義明(放送大学特任教授)	自然環境科学／大学院 ／2	OL	おもに地球の歴史に関わる宇宙地球科学のテーマをとりあげ、分野横断的な視点とそれを研究し解明する過程を含めて講義する。